

記入例12

卒業後、返還免除対象業務に従事しないため修学資金の返還計画を届け出る

返還計画書

○○○○年○月○日

東京都社会福祉協議会会長様

(申請者)

住所 〒123-4567

東京都千代田区飯田橋3-10

氏名 東京 太郎

TEL 03(1234)5678



当てはまる方に○⇒(修学生・連帯保証人)

下記のとおり介護福祉士等修学資金の返還について申請します。

修学生番号	K***001	修学生氏名	東京 太郎	卒業日の属する年度の末日を記入してください。
返還事由発生年月日		○○○○年○月○○日		
返還事由 *該当事由に ○をつける	1 退学した 2 貸付を辞退した 3 貸付を打切られた ④ 卒業後返還免除対象業務に従事しない等、返還猶予又は免除の対象とならない 5 返還免除対象期間を満たさず返還免除対象業務をやめた 6 返還猶予中にその理由が消滅し、返還猶予又は免除にも該当しない 7 返還猶予又は免除を受けることができるが、それを希望しない 他(具体的に)			
貸付内容や貸付を受けた月数に応じた返還期間内に返還完了するよう計画を立ててください。		返還額	返還開始は、「卒業日の属する年度の末日」の翌月から	○,○○○,○○○円 ○円 ○円
返還期間	貸付期間	○○○○年○月～○○○○年○月(○○ヶ月)	返還額	○,○○○,○○○円
	返還猶予期間	年月～年月(ヶ月)		
	返還期間	○○○○年○月～○○○○年○月(○○ヶ月)		
返還方法	返還方法	①月賦 ②半年賦 ③年賦 ④一括		
	1回の返還額	○○,○○○円 (初回 ○○,○○○円)		
連帯保証人	住所 〒333-3333 東京都新宿区神楽河岸1-1 氏名 東京学 TEL 03-3333-3333	1回あたりの返還額に端数が生じた場合は、初回の返還額に加算します。		

※1 返還期間は「返還事由発生年月日」の属する月の翌月から開始と

※2 月賦 半年賦、年賦で返還を希望される場合には「預金口座振替」

※3 基本的に返還期限(下記参照)までに返還額全額を返還完了するように1回の返還額を設定してください。

難しい場合はご相談ください。なお、返還期限を過ぎる場合、延滞利子が発生します。

《返還期限の確認方法》

「返還事由発生年月日」の翌月を含む[(貸付期間の月数×2) + (入学準備金を借受けた場合8) + (就職準備金を借受けた場合8) + (生活費加算を借受けた場合その月数×2)]